

科目名	サブタイトル	担当教員	配置学年
観光プランニング実践	時刻表検索、運賃料金のエキスパートを目指して	手塚 郁子	2年次後期
講義の目的	時刻表のピンクページの適用ルールを習得して、時刻表を読み込む力、使いこなす力を養い、主に鉄道旅行のプランにおけるJR旅客営業規則に基づいた正しい運賃料金計算とその説明ができる能力を身につけることが目的です。		
到達目標	JRを中心とする営業規則に則った運賃計算方法を習得し、それらを踏まえたうえで応用力を身につけて、実際の旅行プランにおける正しい運賃料金計算の見積書を提示することができるようになることを目標とします。		
講義内容	鉄道旅行を中心とした「旅行プラン作成」のために、運賃計算応用能力を身につける学習をします。実際の鉄道旅行コースに即して見積計算をするために必要な距離を時刻表から検索し、運賃料金を算出します。時刻表を引いて距離を割り出した過程やその根拠など、必要事項を細かに書き上げた上で計算式をたて、その運賃料金計算を毎回提出してもらいます。講義よりも実践の時間が主になります。1年次前期の「旅行実務論」の応用編になるので、基本的には「旅行実務論」を履修しておく必要があります。		
講義スケジュール	第1講	科目内容ならびに履修のための注意事項等の説明	
	第2講	1年次「旅行実務論」の復習	
	第3講	運賃計算の基本（連続乗車券）	
	第4講	さまざまな運賃表による運賃計算	
	第5講	運賃計算の特例（特定都区市内）	
	第6講	運賃計算の特例（大都市近郊区間）	
	第7講	運賃計算の特例（新幹線と在来線並行区間の特例）	
	第8講	運賃計算の特例（区間外乗車）	
	第9講	運賃計算の特例（経路特定区間）	
	第10講	プランニング課題作成条件提示と注意事項	
	第11講	プランニング演習1（プラン構想を練る）	
	第12講	プランニング演習2（具体的にプランを設計する）	
	第13講	プランニング演習3（各自のプランについて熟考）	
	第14講	プランニング演習4（プラン計画と見積書の点検）	
	第15講	プランニング課題とその提出（締切は定期試験前の授業最終日、授業終了時）	
指導方法	実践演習が中心で、1月に提出するプランニング課題の作成能力養成のための基礎づくりとして、自分自身で時刻表をひきながら、キロ数を割り出し、運賃計算をします。さまざまな特例を復習しながら、条件や行程に合わせた運賃料金計算の実践を積み重ねていきます。毎授業時の提出物は合格するまで再度提出が必要です。		
授業外学習	事前学習としては、1年次前期に学んだJR運賃料金の計算方法を思い返しておくことです。事後学習は、そのルールについて時刻表のピンクページから検索して実践できるようにすることです。		
成績評価方法	本試験（筆記試験）50%、平常点（毎回の授業内での提出物）20～30%、平常点（プランニング課題）20～30% ただし、授業内の提出物が合格にならないとプランニング課題の提出はできません。またプランニング課題未提出の者、出席率が2/3未満の者は評価の対象外となります。		
ステキ	『JR時刻表』（大型2017年10月号）授業内はもちろん、定期試験も時刻表持込必須のため必ず購入してください。		
書籍参考	『2017（2018） 旅行業務取扱管理者シリーズ TEXT 3 運賃料金』（株）旅行綜研 2018年		
事項記	1年次に「旅行実務論」を履修していない者は、基本的なJRの運賃計算が理解できていないと厳しいと考えられる。（要相談）		